

①事業所向け省エネ設備等導入支援事業補助金

工場・事業所の皆様へ

堺市には**省エネ設備**への**更新・導入**に

活用できる**補助金**があります！

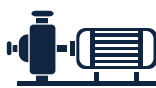
申請期間：2021.5/17～12/10

先着順^{※1}

補助対象設備



コンプレッサ



ポンプ
産業用モータ



ファン



高性能ボイラ



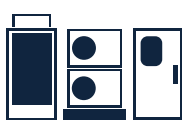
業務用給湯器



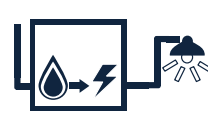
変圧器



冷凍冷蔵庫



産業用冷凍機



業務用燃料電池



産業ヒートポンプ



低炭素工業炉



定置式蓄電池



太陽熱
未利用エネルギーを活用するシステム



地中熱



詳細はこちら！（堺市HP）

LED照明・空調は補助対象外

※1 申請は先着順で受付し、補助金交付申請額の総額が予算額に達し次第受付を終了。

※注意事項※

省エネルギー専門家による

省エネルギー診断を受けていること

が必須です！



- ☑1 堺市内にある事業所を運営する事業者で堺市税を滞納していない事業者^{※2}及びリース事業者
 ※2 同一年度において申請事業者は3つの事業所まで申請可能。
- ☑2 1年間のエネルギー使用量が、原油換算で1,500kL未満であり、**省エネルギー専門家による省エネルギー診断を受けている**市内事業所（住宅に係る部分、風俗営業等を除く）
- ☑3 未使用の補助対象設備を1種類以上導入し、対象事業所全体で下記ABCのいずれかの削減要件を満たす事業^{※3} ^{※4} ^{※5} ^{※6}

A エネルギー使用量	B 温室効果ガス削減量	C 最大需要電力	補助上限額
5%以上 ^{※7}	5t-CO2以上	5%以上	100万円
1%以上	1t-CO2以上	1%以上	50万円

- ※3 補助対象設備1種類につき**補助対象設備費が30万円以上**の事業であること。
- ※4 リース契約も補助対象。
- ※5 実績報告書を令和4年3月18日までに提出可能な事業であること。
- ※6 削減要件にかかる省エネルギー計算は、省エネルギー専門家による省エネルギー診断報告書の内容ではなく、本市の試算方法による。
- ※7 区分Aエネルギー使用量5%以上の要件で申請する場合は、区分B温室効果ガス削減量1t-CO2以上も満たしていること。

- ☑4 取得する見積書は下表のとおり。

	見積書の数	市内事業者の見積書
通常の申請の場合	2社以上	左記のうち1社以上
申請事業者がリース事業者等の場合	2社以上	

- 【リースの場合】
- リース事業者は事業所を運営する事業者（設備使用者）と共同で申請すること。
 - リース期間について、原則として、導入する補助対象設備の法定耐用年数期間とすること。
 - リース料金から補助金相当分を減額すること。

補助対象設備費^{※8}
(工事費等は含まない)
×
補助率1/3以内
=
補助金額

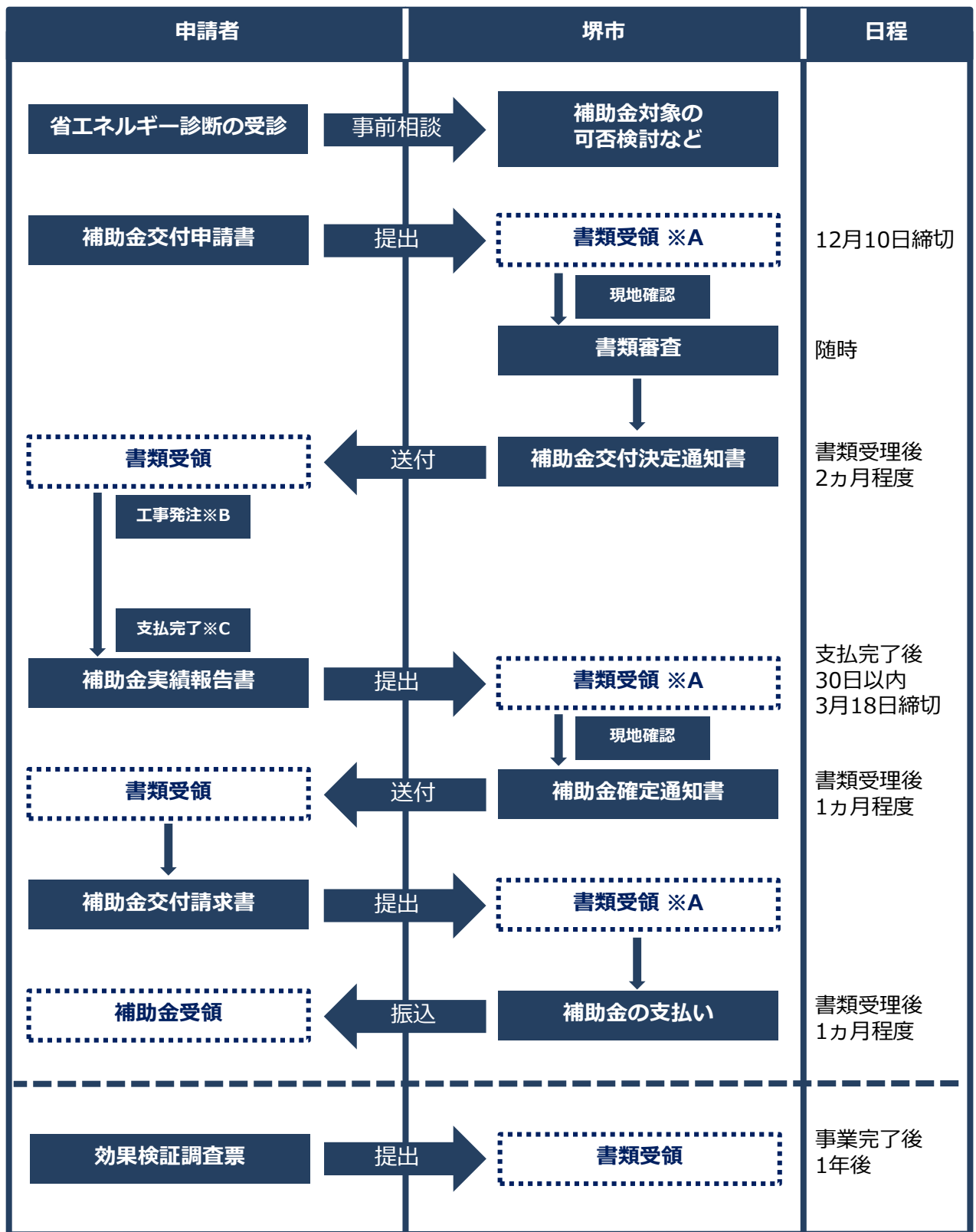
▶削減要件に応じた補助上限額を超える場合、補助金額は補助上限額まで^{※8}

※8 国等の補助制度を併用する場合、補助対象設備費から国等の補助額を差し引いた額の1/3以内。

上記以外の補助要件や申請に関するご相談については、下記よりお問い合わせください。

受付状況および詳細につきましてはこちらよりご確認ください。





注意事項

- ※A 書類は不備がないものについてのみ受領します。
- ※B 工事請負契約等については補助金交付決定後としてください。
- ※C 補助対象経費の支払い方法は、原則として現金・振込のみ認めます。小切手による支払いは領収証がある場合のみ可とします。



問い合わせ先

堺市 環境局 環境都市推進部 環境エネルギー課
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL : 072-228-7548

② 空気圧縮機・省エネアドバイザー派遣事業（無料）

先着
6件

対象事業所：モータ（公称）出力7.5kW以上のスクリュウ圧縮機を使用している
市内事業所。 ※1つの工場等で4台を上限に診断。

診断内容：

- 空気圧縮機の電流・圧力を1週間24時間連続測定し、使用空気量や消費電力、負荷率を計測。
- 得られたデータに基づき、追加投資を必要としない運用改善の手法や、インバータ制御型空気圧縮機への更新効果等についてアドバイスを行います。
- また、希望に応じて吐出圧力の調節などチューニングを行います。

事業の流れ

申込

事前調整

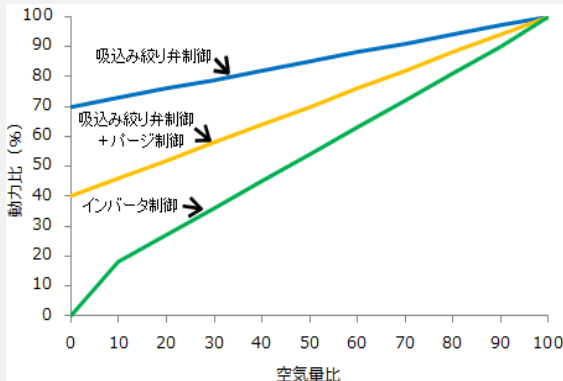
事業説明訪問

測定機取付

測定機回収

解析

省エネアドバイス



< 空気量比と動力比との関係 >

<スクリュウ型コンプレッサの制御方式>

【吸込み絞り弁制御】

負荷に応じて吸気量を調整する弁（吸込み絞り弁）を絞り、吐出圧力を制御します。無負荷状態の場合、コンプレッサの吸い込む空気がなく、空気の圧縮はしていませんが、コンプレッサの内圧が残っていることでモータ電力が消費されています。

【吸込み絞り弁制御+パージ制御】

吐出圧力を調整する方法は吸込み絞り弁制御と同一ですが、吐出空気に余裕がある場合、コンプレッサの内圧を放気（パージ）しモータの負荷を低減します。

【インバータ制御】

インバータにより吐出圧力を一定に保つようにモータの回転数を制御します。負荷に比例した消費動力特性となっています。

問合せ先・申込先；環境エネルギー課

TEL 072-228-7548 FAX 072-228-7063

電子メール kanene@city.sakai.lg.jp



申込日	令和 年 月 日
会社名（工場名称）	
申込担当者	所属 役職・氏名
TEL	
FAX	
E-mail	
事業所の所在地	〒 区
事業内容	業種 主要事業
空気圧縮機 概要	kW スクリュー圧縮機 台 kW 圧縮機 台

